

授業計画書 (シラバス)

| | | | | | |
|-----|-----------|----------|-------------------|-------|---------|
| 教科名 | コールドワーク I | 曜日 時間 | 火曜日 9:10~15:50 | 担当教員名 | イーリ・スヒー |
|-----|-----------|----------|-------------------|-------|---------|

| | | 前期指導案 | | 後期指導案 | |
|------------------------|---|-------|-------|---|------------|
| (年間 2回 4授 業日) | 4月 | 15 | 22 | 10月 | 7 14 21 28 |
| | 5月 | 13 | 20 27 | 11月 | 4 11 18 25 |
| | 6月 | 3 | 10 17 | 12月 | 2 9 16 23 |
| | 7月 | 1 | 8 15 | 1月 | |
| | 9月 | 2 | | 2月 | |
| 方授 法業 | (講義 ・ (実技)) | | | (講義 ・ (実技)) | |
| 授 業 内 容 | <p>A. 板ガラスに様々な模様や形のカットを施す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイドライン、下書きを書く 2. 模様のカット 3. 表面加工 - カットした部分の研磨 4. 台座の作成 5. 作品のクオリティー調整 <p>課題：カオスの法則</p> <p>B. 瓶から飲用グラスの制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大型切断機でのカット 2. 平盤での研磨 3. 瓶底の研磨 6. ガイドライン、下書きを書く (割り出し器の使い方) <p>C. 7x7x7cmのガラスキューブの作成-平ら出し</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大型切断機でのカット 2. 平盤での研磨 3. 角のカット、面取り 4. 仕上げ 5. 研磨 <p>これまでに習った技術を組み合わせた作品作り</p> <p>D. ガラスの接着</p> <p>必要なもの：瓶5~10本、約200x200x約5mmの板ガラス5~10枚、ホットショップ で作成したキューブ</p> <p>講評日：9月2日</p> | | | <p>A.</p> <p>題目：タブー</p> <p>課題：カット模様を施すまたは吹きガラス作品制作</p> <p>着想：平穏と情熱の探究</p> <p>基本的な制作手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホットショップでシンプルな形の作品制作、または任意のガラスを使う 2. 好きなコールドの技法を使いカットや研磨を施す <p>B.</p> <p>ガラスキューブの装飾</p> <p>前期で制作したキューブの1~3面に、今まで習得した技法を生かしたシンプルな装飾を施す</p> <p>ウォーターサンダー機の使用法</p> | |
| 到 達 目 標 | ガラスの特性の理解。コールドガラスの基礎技術を学ぶ。ガラスの安全な扱い方を学ぶ。 | | | コールド技術の向上と発展に注力する。より高いレベルの作品の質と制作意図を追求する。 | |
| 成 績 準 評 価 | オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理 | | | オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理 | |
| 事 留 意 | 各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。 | | | 各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。 | |